

禁裏・公家文庫研究 第五輯

田島 公 編

▶ B5判・482頁／定価：本体 12,000円（税別） ISBN978-4-7842-1792-2

2015年3月刊行予定

これまで勅封のため全容が不明であった東山御文庫本を中心に、近世の禁裏文庫所蔵の写本や、公家の諸文庫収蔵本に関する論考・史料紹介・データベースを収載するシリーズの第五輯。

◎予定内容目次◎

序―禁裏・公家文庫雑感― 北 啓太（元宮内庁京都事務所長）

第一部

柳原家旧蔵書籍群の現状とその目録

―蔵書群の原形復原のための予備的考察―

吉岡眞之（国立歴史民俗博物館名誉教授）

第二部

古代の官撰史書・儀式書の写本作成―「壬戌歳戸籍」の紙背利用を通して― 田島 公（東京大学史料編纂所教授）

『延喜式』諸写本の伝来と書写に関する覚書

―平安中期から江戸前期までを中心に― 田島 公

藤原行成筆「陣定文案」の書誌・伝来

恵美千鶴子（東京大学史料編纂所学術支援職員）東京国立博物館客員研究員

後三条・白河院の年中行事書 遠藤基郎（東京大学史料編纂所准教授）

「足利義昭入洛記」と織田信長の上洛について

木下 聡（東京大学史料編纂所特任研究員）

天正四年興福寺別当職相論をめぐる史料

金子 拓（東京大学史料編纂所准教授）

第三部

陽明文庫所蔵『勘例 御葉・朝賀・小朝拜』所引弘仁宮内式逸文

小倉慈司（国立歴史民俗博物館准教授）

東京大学史料編纂所蔵『見忌抄』の紹介と翻刻

稲田奈津子（東京大学史料編纂所助教）

宮内庁書陵部所蔵九条家本『定能卿記部類』九「仏事」

藤原重雄（東京大学史料編纂所助教）

伏見宮本『惟房公記』

木下 聡

東京大学史料編纂所蔵『公維公記』天正二年～七年記

遠藤珠紀（東京大学史料編纂所助教）

徳大寺家旧蔵『和歌御会詠草』紙背文書の紹介

遠藤珠紀

京都大学附属図書館寄託菊亭家本『禁裏楽器并譜諸目録』

田島 公

東山御文庫蔵『桃園天皇御詠草』の紹介と翻刻

尾葉石真理（東京大学史料編纂所学術支援専門職員）

第四部

宮内庁書陵部所蔵壬生家旧蔵本目録（稿）

小倉慈司

あとがき／執筆者一覧

たじま・いさお…1958年生。京都大学大学院文学研究科博士後期課程（国史学専攻）中途退学。東京大学史料編纂所教授。

思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 TEL.075-751-1781 FAX075-752-0723
http://www.shibunkaku.co.jp/ e-mail:pub@shibunkaku.co.jp

※すでに定期購読のご注文をいただいているお客様には、刊行次第、出荷いたしますので、重複発注にご注意ください。また、定期購読のご登録につきまして不明な点がございましたら、小社までご連絡ください。

注文票		発行：思文閣出版		(京都 取引コード 3402)	
冊数	冊	禁裏・公家文庫研究	第五輯	本体12,000円(税別)	ISBN978-4-7842-1792-2
	冊	禁裏・公家文庫研究	第四輯	本体9,200円(税別)	ISBN978-4-7842-1614-7
	冊	禁裏・公家文庫研究	第三輯	本体11,800円(税別)	ISBN978-4-7842-1414-3
	冊	禁裏・公家文庫研究	第二輯	本体9,800円(税別)	ISBN4-7842-1293-0
	冊	禁裏・公家文庫研究	第一輯	本体9,800円(税別)	ISBN4-7842-1143-8
お名前			tel	 <p>第五輯HPのQRコード</p>	
			e-mail		
ご住所	〒				
送本方法	<input type="checkbox"/> 書店経由（このちらしを書店にお渡し下さい） <input type="checkbox"/> 代 引（書籍代+送料を現品と引き替えにお支払い）				
				書店番線印	

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ ※禁裏・公家文庫研究 第一輯 田島 公 編 ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

序—— 東山御文庫と書陵部 ——

橋本義彦

第一部

明治以後における東山御文庫御物の来歴
近世禁裏文庫の変遷と蔵書目録
—— 東山御文庫本の史料学的・目録学的研究のために ——

北 啓太
田島 公

第二部

田中教忠旧蔵『寛平二年三月記』について
—— 新たに発見された『小野宮年中行事裏書』 ——
『小野宮年中行事裏書』(田中教忠旧蔵『寛平二年三月記』)
影印・翻刻
鹿内浩胤
鹿内浩胤
西本昌弘
広橋家旧蔵本『叙除拾要』について
—— 藤原行成の除目書と思われる写本 ——
尊経閣文庫本『無題号記録』と東山御文庫本『叙位記 中外記』
所引「院御書」—— 『院御書』の基礎的研究1 ——
田島 公
田島 公
『秋玉秘抄』と『除目秘抄』
—— 源有仁原撰本『秋次第』と思われる写本の紹介と検討 ——

第三部

東山御文庫本『御産記 寛弘六年十一月』(小右記)の紹介
石田実洋
『中右記部類』目録
吉田早苗編
伏見宮本『御産部類記』について
詫間直樹
『実躬卿記』写本の形成と公家文庫
菊地大樹
菊亭家本の賀茂(鴨)御幸記二種
藤原重雄
—— 洞院家文庫の遺品 ——
洞院公数の出家
末柄 豊
—— 東山御文庫本『洞院家今出川家相論之事』から ——

第四部

東山御文庫本マイクロフィルム内容目録(稿)(1)
小倉慈司
▶B5判・398頁/本体9,800円(税別) ISBN4-7842-1143-8

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ ※禁裏・公家文庫研究 第二輯 田島 公 編 ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

序

米田雄介

第一部

東山御文庫架蔵「地下文書」の性格
—— 天皇と下級廷臣の世界 ——
飯倉晴武
書陵部所蔵宋版一切経の来歴について、その印造から現代まで
—— 時々の保全活動を交えて ——
中村一紀
中世天皇家の文庫・宝蔵の変遷
—— 蔵書目録の紹介と収蔵品の行方 ——
田島 公
高松宮家旧蔵『伏見殿文庫記録目録』について
詫間直樹

第二部

渤海南京南海府の位置推定についての考察
趙 炳舜
—— 『統日本紀』写本の「吐号浦」をめぐって ——
九条本『官奏抄』の基礎的考察
石田実洋
東山御文庫本『除目部類記』所引『法性寺殿御記』『中右記』
逸文
尾上陽介
『中右記部類』年次目録
吉田早苗編
高松宮家旧蔵『定能卿記 安元御賀記』 藤原重雄・三島暁子
宮内庁書陵部蔵『叙位儀次第』(管見記第五軸) 紙背文書につ
小川剛生
いて

第三部

東山御文庫本マイクロフィルム内容目録(稿)(2)
小倉慈司

▶B5判・400頁/本体9,800円(税別) ISBN4-7842-1293-0

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ ※禁裏・公家文庫研究 第三輯 田島 公 編 ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

序—— 書陵部の想い出 ——

飯倉晴武

第一部

近代の禁裏・公家文庫—— 凶書寮 ——
飯倉晴武
伏見宮本の変遷—— 書陵部での整理と書名決定 ——
飯倉晴武
『後円融院宸記』永徳元年・二年・四年記
桃崎有一郎
後光明天皇期における禁裏文庫
松澤克行
京都大学附属図書館所蔵『芥記』
松澤克行
近世禁裏における六国史の書写とその伝来
小倉真紀子

第二部

『執政所抄』の成立と伝来について
渡辺 滋
承安三年最勝光院供養に関する史料
藤原重雄
御賀の故実継承と「青海波小輪」について
三島暁子
—— 附早稲田大学図書館蔵『青海波垣代之凶』翻刻 ——
「公卿学系譜」の研究
田島 公
—— 平安・鎌倉期の公家社会における口伝・故実の成立と相承 ——

第三部

宮内庁書陵部所蔵伏見宮本目録
小倉慈司
東山御文庫本マイクロフィルム内容目録(稿) 索引
小倉慈司
▶B5判・496頁/本体11,800円(税別) ISBN978-4-7842-1414-3

九条家本『神今食次第』にみえる「清涼御記」逸文 西本昌弘

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ ※禁裏・公家文庫研究 第四輯 田島 公 編 ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

序—— 東山御文庫雑感 ——

吉岡眞之

第一部

『言談抄』の三伝本の関係
三角洋一
「大日本史編纂記録」の史料的特質
鍛冶宏介
近世朝廷における公日記
村 和明
—— 執次「詰所日記」の部類目録を中心に ——
東山御文庫所蔵『日本紀略』と禁裏文庫『日本後紀』
—— 二十巻本『日本後紀』の抄出紙片をめぐって —— 志村佳名子

第二部

宮内庁書陵部所蔵九条家本『定能卿記部類』八「興福寺供養」
藤原重雄
『公卿補任』正中元年条の復原
宮崎康充

第三部

翻刻『近衛家記録十五函目録』
尾上陽介
陽明文庫所蔵『兵範記』紙背文書目録
尾上陽介
陽明文庫所蔵『勘例』内容目録
田島 公
西尾市岩瀬文庫 柳原家旧蔵資料目録
西尾市岩瀬文庫編
宮内庁書陵部所蔵柳原家旧蔵本目録(稿)
小倉慈司
宮内庁書陵部所蔵九条家旧蔵本目録(稿)
小倉慈司

早稲田大学図書館所蔵『先秘言談抄』の書誌と翻刻 田島 公
—— 三条西家旧蔵本『言談抄』の紹介 ——
三条西家旧蔵『禪中記抄』 中町美香子

▶B5判・404頁/本体9,200円(税別) ISBN978-4-7842-1614-7

インタビュー・エッセイや新刊情報を掲載した広報誌『鴨東通信』を年4回無料でお送りしています。電話・fax・Eメールでお申し込み下さい。※印の書籍は外函・カバーに汚れ・傷みがございます。